

健康や福祉 より身近に

社会福祉法人連携 出前講座スタート



社会福祉法人の職員を講師に招き、地域住民が介護サービスの利用法などについて学んだ講座
＝酒田市郡嶺・山谷コミュニティセンター

運動法や制度 分かりやすく

2016年の社会福祉法改正で「地域における公益的な取り組み」が社会福祉法人の責務に定められたのを受け、酒田市社会福祉協議会が呼び掛け、市内法人の協働による活動を構築してきた。18年に法人間の連携強化を図って連絡会議を立ち上げ、地域住民の意見をとり入れようとアンケートを実施。社会福祉法人に期待する活動として、最も回答が多かった出前講座の事業化を決めた。

「ふくし出前講座・ふくし共育出前講座」を酒田、市社協を窓口にして今年6月から受け付けを開始。10法人が▽介護予防の運動体験▽福祉サービス紹介▽認知症への理解を深めてもらう▽といった計3つのメニューを用意した。自治会や企業の研修会のほか、学校の福祉

酒田 酒田市内で高齢福祉施設などを運営する社会福祉法人が連携し、地域住民の要望に応じた健康増進や福祉の制度について教える出前講座がスタートした。生活相談員や介護支援専門員、社会福祉士といった講師が、現場で培ったノウハウを生かしてバラエティ豊かな講座を繰り広げ、受講者から「分かりやすい」と好評を得ている。

ワイド地域

本社 編集部 022(6)253385 長井支社 0223(8)642220
 天童支社 023(6)533330 南陽支社 023(8)402451
 上山支社 023(6)725821
 米沢支社 023(6)233222
 地域の情報をあわせてください

による研修会の一環として出前講座が開かれた。かたはみ会（同市・佐藤啓司理事兼島）の職員5人が寸劇を交え、自宅で家族がけがをし、在宅介護が必要となったなどの想定で、各種相談窓口や、サービスを受けるために必要な手続きなどを分かりやすく伝えた。

同会が運営する特別養護老人ホームかたはみ荘の五十嵐順明施設長は「回子などではわかりづらい制度の仕組みや、施設の利用方法を住民に発信するいい機会になる。職員のスキルアップにもつながるだろう」と

話していた。
 講師の派遣は無料で、市内の5人以上の団体・グループが対象。開催希望日の1カ月前までテーマを選んで申し込む。問い合わせは市社協内の市社会福祉法人連絡会議事務局0234(23)5765。
 （吉村 瑛人）

令和2年8月24日（月）

山形新聞 朝刊 12面